

令和6年第2回定例会 審議結果一覧

全員賛成で議決した議案等

- 議案1 令和6年度旭市一般会計補正予算の議決について
- 議案2 旭市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案3 旭市が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案4 旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案5 財産の取得について(水槽付消防ポンプ自動車(I-B型))
- 議案6 旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

- 議案7 旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
- 議案8 専決処分の承認について(令和6年度旭市一般会計補正予算)
- 議案9 専決処分の承認について(旭市税条例の一部を改正する条例)
- 議案10 専決処分の承認について(旭市都市計画税条例の一部を改正する条例)
- 議案11 専決処分の承認について(旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 議案12 専決処分の承認について(旭市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)

- 発議1 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について
- 発議2 国における2025年度教育予算拡充に関する意見書の提出について
- 発議3 旭市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について
- 発議4 旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

- 請願1 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願
- 請願2 「国における2025年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

市議会から国へ意見書を提出

請願第1号・第2号が採択されたことに伴う、発議第1号・第2号の可決により、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣に意見書を提出しました。

《意見書抜粋》

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度は、憲法上の要請として、教育の機会均等とその水準の維持向上を目指して、子どもたちの経済的、地理的な条件や居住地のいかんにかかわらず無償で義務教育を受ける機会を保障し、かつ、一定水準の教育を確保するという国の責務を果たすものである。

政府の主導する三位一体の改革の中で、国家財政の悪化から同制度を見直し、その負担を地方に転嫁する意図のもとに、義務教育費国庫負担金の減額や制度そのものの廃止も検討された経緯がある。

地方財政においても厳しさが増している今、同制度の見直しは、義務教育の円滑な推進に大きな影響を及ぼすことが憂慮される。また、同制度が廃止された場合、義務教育の水準に格差が生まれることは必至である。

よって、国においては、21世紀の子どもたちの教育に責任を持つとともに、教育水準の維持向上と地方財政の安定をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める。

国における2025年度教育予算拡充に関する意見書

以下の項目を中心に、2025年度にむけての予算の充実をしていただきたい。

1. 災害からの教育復興にかかわる予算の拡充を十分にはかること
2. 少人数学級や小学校高学年専科を実現するため、公立義務教育諸学校の教職員定数を改善する計画を早期に策定・実現すること
3. 保護者の教育費負担を軽減するために義務教育教科書無償制度を堅持すること
4. 現在の経済状況を鑑み、就学援助や奨学金事業にかかわる予算を更に拡充すること
5. 安心して学校生活を送れるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等相談体制を充実させるとともに多様な学びの場の充実を図り、誰もが学ぶことができる機会を保障すること
6. 安全・安心で個別最適な学びを実現する施設環境の整備にむけ、バリアフリー化や、洋式・多目的トイレ、空調設備設置等の公立学校施設整備費を充実すること
7. GIGAスクール構想の着実な推進と教育DXを加速化し、学校現場における校務の効率化や様々な課題に対応できる環境を整えること